■日常点検

2～3日ごとに点検してください。

点検項目	方法	点検内容
負荷電流	電流計	銘板記載の定格電流以内であること
騒音	聴感	異常音（ガタゴト温、周期音）がないこと ※軸受部に聴音棒を当てて異常音を確認する
振動	触感	ギアケース、モータフレームの異常振動がないこと
表面温度	温度計	日常の温度よりも急激に上がったり下がったりしていないこと
グリース漏れ	目視	ケース、オイルシール、ブラケット等の接合部から漏れていないこと

■定期点検

8時間/日運転を想定します。

点検項目	点検目安	点検内容
据え付けボルト	半年	スパナでゆるみ確認 ゆるんでいた場合は増し締めしてください
チェーン及びVベルト	半年	張り具合の確認 ゆるみすぎ、張りすぎの場合は調整してください
モータの絶縁抵抗	半年	絶縁抵抗計で測定 測定電圧500Vの時、1MΩ以上であること
ギャップ量（ブレーキ）	1年または ブレーキ使用回数 100～150万回	ギャップ限界値以下であることを確認 点検・調整方法は次のページの調整方法を参照して行ってください

※点検にて異常が認められた場合は、「10.故障と原因と対策」を参照して対策処置を行ってください。

■ブレーキ仕様

標準形（ブレーキ型式：B2、J2）

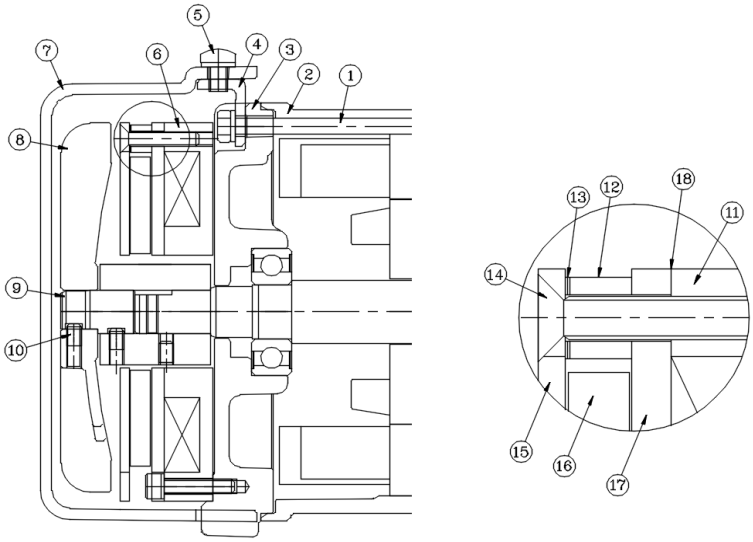
容量	ブレーキ電源	ブレーキ電源	制動トルク	ギャップ[mm]			推奨締付	ネジ
[kW]	AC電圧[V]	DC電圧[V]	[N・m]	初期	限界	調整可能	トルク[N・m]	サイズ
0.1	200	90	1.0	0.05～0.20	0.4	0.3	2.1～2.3	M4
0.2			1.96	0.05～0.20	0.4	0.3	2.1～2.3	M4
0.4			3.92	0.05～0.25	0.4	0.35	2.1～2.3	M4
0.75			7.35	0.05～0.25	0.45	0.4	2.1～2.3	M4
1.5			14.7	0.05～0.25	0.55	0.5	6.9～7.6	M6
2.2			21.6	0.05～0.25	0.55	0.5	6.9～7.6	M6

防水形 IP65（ブレーキ型式：V2）

容量	ブレーキ電源	ブレーキ電源	制動トルク	ギャップ[mm]			推奨締付	ネジ
[kW]	AC電圧[V]	DC電圧[V]	[N・m]	初期	限界	調整可能	トルク[N・m]	サイズ
0.1	200	90	1.0	0.05～0.15	0.45	0.4	2.1～2.3	M4
0.2			1.96	0.05～0.15	0.45	0.4	2.1～2.3	M4
0.4			3.92	0.05～0.15	0.45	0.4	2.1～2.3	M4
0.75			7.35	0.05～0.15	0.5	0.4	2.1～2.3	M4

■ブレーキ構造

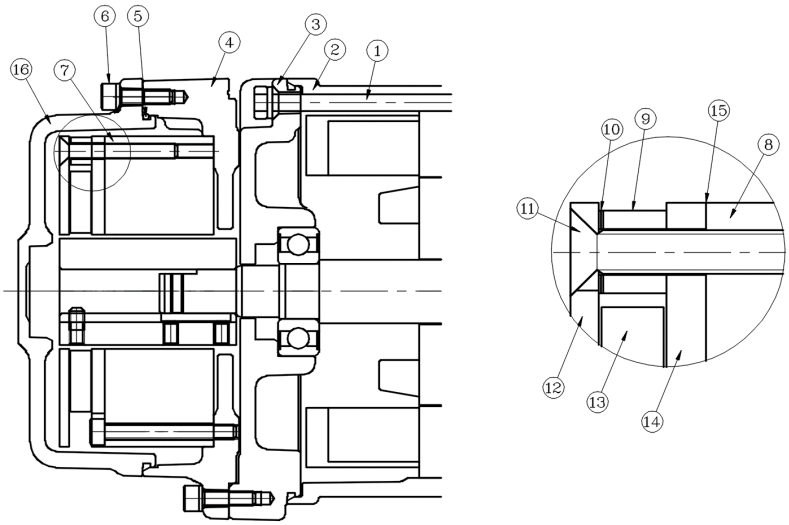
標準形 (ブレーキ型式：B2、J2)



①	通しボルト
②	モータフレーム
③	ブラケット
④	ステー
⑤	ファンカバー止めねじ
⑥	ブレーキ
⑦	ファンカバー
⑧	ファン
⑨	継ぎシャフト
⑩	ファン止めねじ
⑪	マグネットASSY
⑫	カラー
⑬	シム
⑭	皿ねじ
⑮	プレート
⑯	ディスク
⑰	アーマチュア
⑱	ギャップ

※0.1～0.75kWは全閉自冷形のため、ファンがありません。

防水形 IP65 (ブレーキ型式：V2)



①	通しボルト
②	モータフレーム
③	ブラケット
④	スペーサ
⑤	Oリング
⑥	カバー固定ボルト
⑦	ブレーキ
⑧	マグネットASSY
⑨	カラー
⑩	シム
⑪	皿ねじ
⑫	プレート
⑬	ディスク
⑭	アーマチュア
⑮	ギャップ
⑯	ブレーキカバー

■ブレーキギャップの点検方法

(1) ⑤ファンカバー止めねじを緩めて、⑦ファンカバーを取り外す。
防水形の場合、㉑カバー固定ボルトを緩めて㉒ブレーキカバーを取り外してください。

(2) ⑪マグネットASSYと⑰アーマチュア間の⑱ギャップが、ギャップ限界値以下であることをスキミゲージなどで確認。
防水形の場合、⑧マグネットASSYと⑭アーマチュア間の⑮ギャップが、限界ギャップ以下であることをスキミゲージなどで確認。
注) 必ず電源を切った状態で行ってください。